

「中期経営計画2023」策定に際し、経営指標にROICを導入するとともに、ESG経営の加速化を図るため重要側面(マテリアリティ)を新たに特定し、各指標を設定しました。財務分野における指標の実績については、□□P.16を参照ください。マテリアリティの主要取り組み指標の実績については、□□P.25-26を参照ください。

## 中長期経営指標

		2023年度 目標	2030年度 目標	2050年度 目標	
収益性指標	ROIC※2	5%程度	7%程度※1		
財務健全性指標	D/E比率	0.7%程度			
	自己資本比率	50%程度			
株主還元	配当性向	30%以上			
成長投資		5,000億円※3	1兆4,500億円※4		
	国内エネルギー	1,740億円※3	5,200億円※4		
	海外エネルギー	1,680億円※3	5,500億円※4		
	LBS	1,580億円※3	3,800億円※4		
品質向上投資		2,370億円※3	5,500億円※4		
マテリアリティの 主要取り組み 指標 (KPI)	Newノーマルに 対応した暮らしと ビジネスの実現	お客さまアカウント数		1,000万件以上	
		お客さま満足度	90%		
	お客さまと社会の レジリエンス向上	重大事故件数	重大事故ゼロの継続		
		強靱な設備形成	防災・経年対策の推進※1		
	低・脱炭素社会の 実現	再生可能エネルギー電源比率		50%程度※1	
		再生可能エネルギー普及貢献量	250万kW	500万kW※1	カーボン ニュートラル
		CO <sub>2</sub> 排出削減貢献量(2016年度比)		1,000万トン※1	
	ミライ価値の 実現を支える 基盤	行政活動への参画数	14件		
		地域との共創回数	170回		
		適切な新規サプライヤー比率	100%		
		重大な法令違反件数	重大な法令違反ゼロの継続		
		従業員意識調査		従業員エンゲージメントの維持・向上※1	
		従業員1人当たりの年間研修時間		人材育成・環境の整備※1	
女性の役員比率			20%以上※1		
女性の管理職昇格比率			30%以上※1		
女性の総合職採用比率		30%以上の継続※1			

### 2050年 カーボンニュートラル実現への挑戦

Daigasグループは、地球温暖化対策への社会的要請の一層の高まりを受け、これまでの天然ガス利用拡大の取り組みに加えて、再生可能エネルギーや水素を利用したメタネーションなどによる都市ガス原料の脱炭素化、および再生可能エネルギー導入を軸とした電源の脱炭素化によって、2050年のカーボンニュートラル実現を目指します。また、実現に向けた取り組みを示すために「カーボンニュートラルビジョン」を2021年1月に発表しました。

同年3月に「中期経営計画2023『Creating Value for a Sustainable Future』」を発表しました。このなかで一部、「長期経営ビジョン2030」で掲げた目標を更新し、低・脱炭素化をさらに推進します。

カーボンニュートラル実現に向けたロードマップに基づく取り組み状況については□□P.28-33をご参照ください。

※1 「中期経営計画2023」に新たに設定した2030年度目標

※2 ROICについては□□P.39を参照

※3 2023年度目標は2021年度～2023年度の累計

※4 2030年度目標は2017年度～2030年度の累計